

化粧品を塗布した皮膚の バリア機能の評価(TEWL、角層水分量)

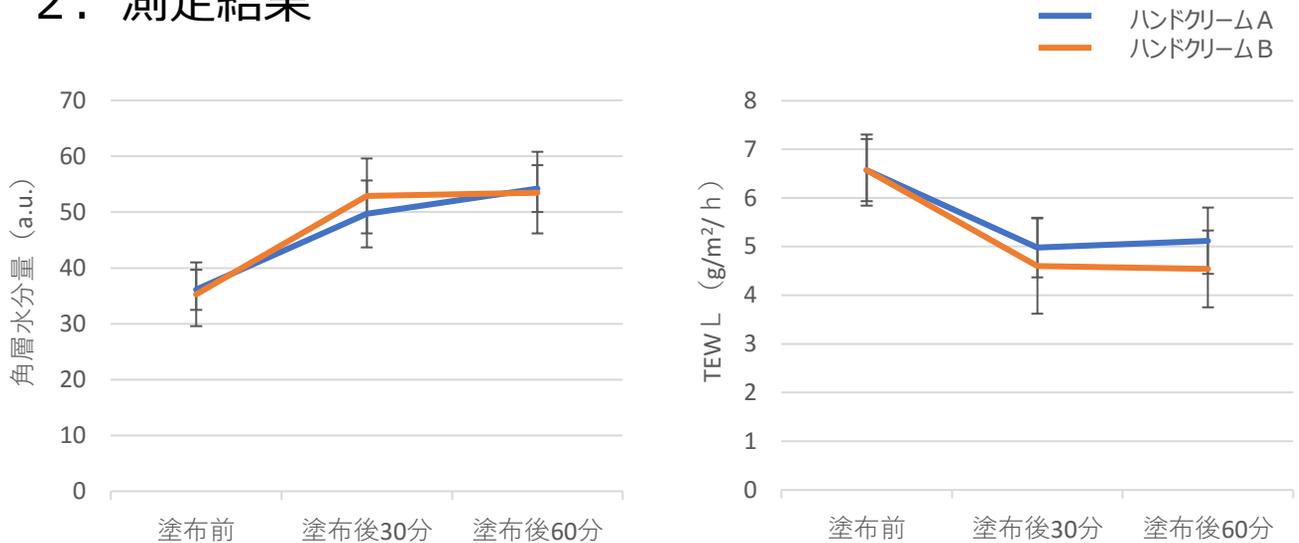


SUSCARE

1. 測定条件

4名の男女を対象に、前腕内側に市販のハンドクリームを塗布し、一定時間経過後に経皮水分蒸散量(TEWL)および角層水分量を測定した。
2種のハンドクリームAおよびBについて、結果を比較した。

2. 測定結果



3. 測定結果から得られる情報

測定結果から、ハンドクリーム塗布による角層水分量の増加、および持続的な経皮水分蒸散量(TEWL)の低下が観察された。TEWLの低減効果はAよりもBの方が高かった。

TEWLは皮膚バリア機能の指標である。ハンドクリームを塗布した皮膚は水分蒸散量が減少するとともに角層水分量が増加し、皮膚のバリア機能が補われていることが確認できる。本装置では、皮膚状態の計測や、化粧品、食品などが皮膚のバリア機能に与える効果を評価できる。

4. 使用機器／利用料金

Cutometer DUAL MPA580 (Courage+Khazaka 社製)

中小企業：2,870 円／1時間

一般企業：5,740 円／1時間

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。